

山梨大学医学部附属病院 [地域医療連携だより]

パートナー

2025

vol.25

令和7年10月発行

[特集] 診療科・部門のご紹介

小児科／血液・腫瘍内科／集中治療部／山梨県地域医療支援センター



山梨大学医学部附属病院 診療科・部門のご紹介

小児科

Pediatrics

当科は、幅広い領域の難治性小児疾患に対して学会専門医が高度な医療を展開し、山梨県の3次救急を含む小児医療の中心的な役割を担っています。また、長期の入院生活における学習機会や生活の質を保障するために、感染対策に留意しながら院内学級との連携や病棟図書室の充実など、療養環境の整備に努めています。

主な専門グループの特徴は以下の通りです。

血液班:白血病、神経芽腫などの小児がんに対して、抗がん剤、放射線、手術、免疫・移植療法を用いた集学的な治療、また、骨髄不全症や免疫不全症などの血液疾患に関する診断と同種移植も含めた治療を行っています。

心臓班:先天性から後天性の心疾患まで幅広く対応し、難治性川崎病に対する血漿交換や小児頻脈性不整脈へのカテーテル治療を行っています。

神経班:てんかん拠点病院として、神経筋疾

患に対する遺伝子治療や脳炎脳症などの神経救急対応を行う一方、神経発達症やてんかんなどの神経心理・認知機能検査などにも力を入れています。

内分泌班:小児内分泌疾患に対し、遺伝子診断を含む専門的な診断治療を行い、小児糖尿病に対しては、毎年サマーキャンプを開催して、患者教育を行っています。

腎臓班:小児腎生検が可能な施設として、ネフローゼ症候群や慢性腎炎に対する個別化した治療を提供し、その他、幅広い腎疾患の管理や小児リウマチ性疾患、自己炎症性疾患に対する診断・治療を行っています。



血液・腫瘍内科

Hematology and Oncology

血液・腫瘍内科では、白血病、悪性リンパ腫および多発性骨髄腫に代表される血液悪性腫瘍や、自己免疫性血液疾患などの良性疾患の治療にあたっています。特に悪性リンパ腫は、山梨県において男女ともに大腸癌、肺癌、胃癌に次いで4番目に多いがんとして位置付けられています。一方、血液悪性腫瘍はもっとも治療の

進歩が著しい領域の一つであり、治療成績は年々改善しています。従来型の抗がん剤に加え、様々な分子標的薬や抗体製剤、さらに細胞免疫療法などの治療方法が毎年次々に登場しており、治療成績は飛躍的に改善しています。当科はこれらの最先端治療の導入をして、2020年には造血幹細胞移植カテゴリー1、2025年はキメラ抗原受容体T細胞療法(CAR-T療法)の施設認定を取得しました。また、2024年には、無菌治療室を4床増床して12床体制とし、これらの治療を行うための環境を整備しています。



現在、14名の医師が所属しており、うち9名が日本血液学会専門医、4名が日本造血・免疫細胞療法学会 移植認定医の資格を有し、さらに、血液・腫瘍内科病棟の看護師の多くが造血細胞移植についての専門研修を受講しています。病棟には専属の薬剤師やリハビリテーションスタッフが所属し、チームとして診療にあたっています。新規治療の開発にも積極的に取り組んでおり、毎年20件程度の臨床試験を行なっています。

集中治療部

Department of Critical Care
Medicine

当部門は、専門医と看護師が24時間体制で重症患者に対応可能な、県下で唯一の集中治療室(ICU)を運営しています。最重症例の診療支援の責務を担い、現場の最前線で患者と真摯に向き合いながら、日々進化する医療技術や治療方針に柔軟に対応し、常に最善の医療を追求しています。

診療はICU専任医師を中心に、専門看護師、薬剤師、臨床工学技士、リハビリスタッフなどの多職種が連携し、重症患者を包括的かつ継続的に管理する体制を整えており、スタッフ全員が迅速かつ的確な判断を行うために、教育やシミュレーショントレーニングを充実させています。

治療面では、ECMOやCRRTといった高度医療技術을駆使し、24時間体制で院内外から搬送される重症患者の治療にあたっています。さらに、診療に必要な医療資源の調整や、急性期から回復期への円滑な移行支援など、幅広い役割を果たしています。

また、年間約800名以上の新規入室患者を受け入れ、その豊富な症例数と経験を基盤に、大学病院として臨床研究・基礎研究の両面を積極的に推進しています。これにより、救命率の向上や新規治療法の開発に寄与し、学術的成果を社会へ還元しています。

今後は、最新技術の導入や多施設との連携を一層強化し、診療の質を高めるとともに、地域全体の医療水準向上にも貢献してまいりたいと考えています。



山梨県 地域医療 支援センター

Yamanashi
Community Medicine
Support Center

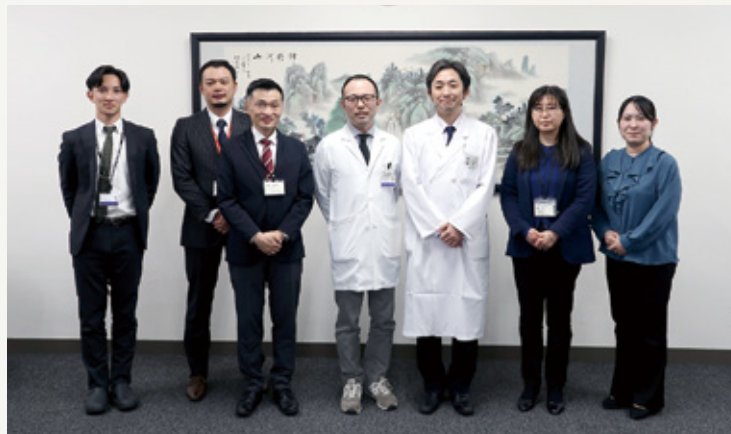
山梨県地域医療支援センターは、専門医キャリア支援センターが担う地域枠医師等のキャリア形成支援と一体的に、地域医療機関の医師不足における医師確保を支援する組織です。山梨県と山梨大学により共同設立して、山梨県医務課と当センターが協働して活動しています。

2006年の新医師確保総合対策、および2008年の本学医学部における地域枠創設以降、本県の医師数は増加を維持しており、山梨県全体では医師数の絶対的不足は解消されつつあります。地域格差により、中北医療圏は医師多数区域である一方、峡東および峡南医療圏では更なる医師数の増加を要するため、医師偏在の解消は道半ばです。加えて、医療機関において各診療科で持続的に十分な医師数を確保するためには、各専門研修プログラムとの連携等、大きな課題が残されています。

また、本県の人口は減少し、高齢化の進行も見込

まれるため、中長期的な医療ニーズや医師の働き方改革を踏まえた医療体制の整備は必須です。今後の医学部入学定員や地域枠の運営の検討を含め、医療需要の量および質の変化に対応する必要があります。これまで県内の医師数増加を念頭に活動してきた当センターの役割は、社会と時代に適応するための転換期に入っていると言えます。

皆様のご指導を賜りながら、本県の医療体制の更なる発展に貢献できますよう、全力を尽くす所存です。どうぞよろしくお願い申し上げます。



セミナー・講演会等のお知らせ

対象：医療従事者

開催名	主 催	開催日	開催場所	お問合せ先 (内線番号)
第84回 山梨県眼科集談会	山梨大学医学部眼科学講座 他 共催	2025年11月15日	オンライン シャトレゼホテル 談露館	内線 2372
第267回 日本呼吸器学会関東地方会	第267回日本呼吸器学会関東地方会、 山梨大学呼吸器内科	2025年11月22日	シャトレゼホテル 談露館	内線 2311
第35回 山梨脳卒中研究会	山梨脳卒中研究会 他 共催	2025年12月18日	シャトレゼホテル 談露館	内線 2353

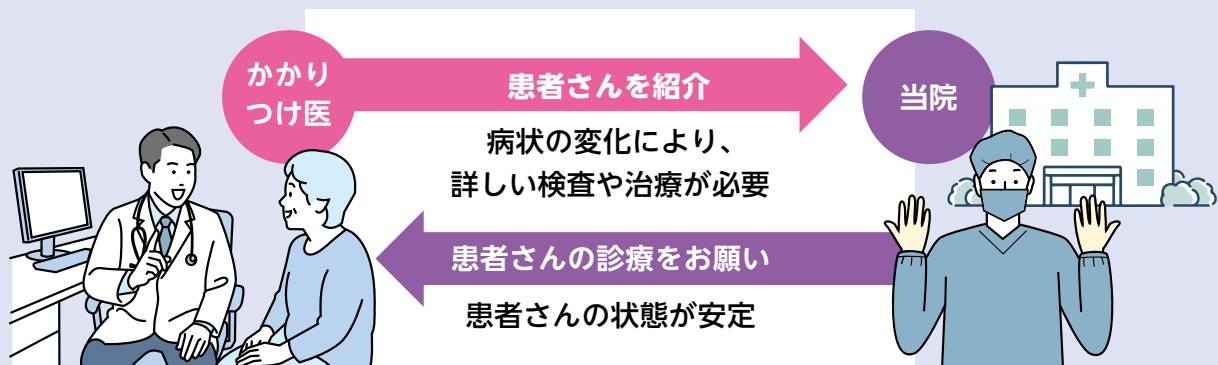
※上記セミナー・講演会へのお問合せは TEL:055-273-1111 (代表) へお掛けのうえ、お問合せ先の内線番号をお伝えください。

地域医療連携のさらなる強化を目指して

当院では、必要な専門的治療を終え、病状が安定された患者さんにつきましては、今後の継続治療をお住まいの地域の医療機関にお願いしております。

なお、紹介後の治療経過において病状の変化が見られた場合には、改めて紹介状をご持参のうえ当院を受診いただき、地域の医療機関と連携しながら治療を行ってまいります。

患者さんにとって安心できる医療体制の構築を目指し、皆様と連携・協力を一層強化していく所存です。今後とも、質の高い医療の提供に努めてまいりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。



病院運営基金に対するご支援のお願い

当院では、令和5年の開院40周年を機に、寄附事業として「医学部附属病院運営基金」を設立しました。皆様からお寄せいただいた寄附金は、患者さんに安全で最適な医療を提供するとともに、人間性豊かな医療人の育成と、臨床医学の発展に活用いたします。

今後も山梨県における医療・医学の中核となる県内唯一の大学病院として、地域の皆様の健康を守ることに全力を尽くしてまいりますので、何卒、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

山梨大学医学部附属病院
運営基金特設ページ

<https://kifu.med.yamanashi.ac.jp/page/unei1/>

【お問い合わせ先】

管理課

総務・予算・資産グループ

TEL: 055-273-9614

E-mail: kanrika-kifu@yamanashi.ac.jp

